

第一回

人生後半からのキャリア開発 と結晶性能力の伸ばし方

自分の加齢による変化を受けとめ、
弱み・強みを知り克服する

高齢期になっても、
「働き続けることができる能力」を伸ばす

講師紹介 崎山みゆき



桜美林大学国際学研究科 修士
サンフランシスコ州立大学 学術博士
株式会社自分楽 代表取締役
日本産業ジェロントロジー協会代表
元静岡大学大学院客員教授
・専門分野
産業ジェロントロジー・コミュニケーション・生涯学習論、40代のストレス対策
著書「シニア人材マネジメントの教科書」
日本経済産業新聞出版社
「ジェロントロジーで学ぶ
40・50歳からの働きかた」日経BP社その他

大八木智一



法政大学キャリアセンター教授
・専門分野
産業人材育成論、キャリアデザイン論
筑波大学大学院博士課程地球科学研究科中退。
三菱総合研究所、東京労働局、電気通信大学、
静岡大学等を経て現職
・人材育成学会、日本労務学会所属

2020年8月22日(土曜日) 当日のカリキュラムは背面

13時30分から16時45分 受付13時20分から

文京区スポーツセンター会議室 筑波大学東京キャンパス隣

文京区大塚3-29-2 地下鉄丸ノ内線 茗荷谷駅 徒歩4分

参加費用・申込

3,000円 税込み 事前振込み

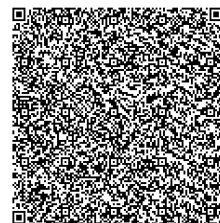
<https://jiga.jp/contact/> (一般社団法人日本産業ジェロントロジー協会 問い合わせフォーム)

本文に8/22講座申し込みと記載の上ご送付ください。

定員 20名

対象 40代・50代の有職者の方(同業の方はご遠慮いただくこともあります)

※新型コロナ対策として、席の間隔をあけて受講できる体制にします。入り口に消毒液・体温計を設置致します。受講者におかれましては、「マスクの着用」必須など感染予防対策へのご協力をお願いいたします。風邪の症状や37.5度以上の熱がある方3か月以内の渡航歴がある方はご遠慮下さい。



地図URL

2020年8月22日(土曜日)

講座:13時30分-16時45分 受付:13時20分

カリキュラム

- 1 なぜ、ミドル世代で、キャリア開発が必要なのか?
- 2 産業ジェロントロジーとは何か? 有益性とは?
- 3 結晶性能力とは何か? その伸ばし方とは?
- 4 40代ですべきこと、50代ですべきこと。
- 5 自己環境チェック 私生活・仕事(ディスカッション)
- 6 これからすべきこと、これからやめるべきこと

主催者コメント

本企画は、産業ジェロントロジーの第一人者として、「生涯現役」「人生100年時代」という言葉に疑問と不安を抱えている、ミドル世代の日本型サラリーマンのために立案しました。

産業ジェロントロジーとは、ジェロントロジー(老年学・加齢学)の研究成果を企業の人材マネジメント・新規事業などに生かす学問です。

私たちには、高齢期になっても伸びる「結晶性能力」という、今までの知識や経験に基づいたものがあります。しかし、この能力は、単に歳を重ねさえすれば伸びるわけではありません。

中年時代の生き方・働き方の質・量に左右されます。産業ジェロントロジーならではの方法論があります。

私たちは「働き方改革」が必要と言われていますが、本当に必要なのは「働く価値改革」です。今回は大学との連携を取らせていただきました。成果を求められ続けてきた人生半ば、今一度、学ぶことの本質も併せて考えてみませんか?高齢社会を豊かにするのは、ミドル世代です。自分のことはもちろんですが、後輩・子供たちのためにも、是非一度、本講座にお越しください。

一緒に、明日を創りましょう。

主催) 一般社団法人日本産業ジェロントロジー協会

<https://jiga.jp>



共催) 株式会社自分楽

<http://jibungaku.com>

協力) 法政大学キャリアセンター